



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7459 URL <http://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 左近 祐史 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,390,478	2.6	34,196	3.9	44,105	2.2	27,735	17.8
29年3月期第3四半期	2,329,654	1.6	32,898	3.1	43,147	4.3	23,547	6.2

（注）包括利益 30年3月期第3四半期 49,079百万円（44.4%） 29年3月期第3四半期 33,999百万円（△5.9%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	122.78	120.67
29年3月期第3四半期	103.99	ー

平成29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	1,693,303	557,774	27.8	2,096.52
29年3月期	1,525,912	521,165	28.9	1,950.25

（参考）自己資本 30年3月期第3四半期 471,532百万円 29年3月期 441,611百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	15.00	ー	16.00	31.00
30年3月期	ー	16.00	ー		
30年3月期（予想）				16.00	32.00

（注）平成29年5月15日に公表した配当予想に変更はありません。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,116,000	1.7	43,500	9.7	57,000	6.8	33,500	15.5	148.45

（注）平成29年10月31日に公表した業績予想に変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	244,524,496株	29年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	19,612,788株	29年3月期	18,086,104株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	225,905,373株	29年3月期3Q	226,439,138株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、「2019メディopal中期ビジョン Change the 卸 next - 革新と創造」に沿った取組みを展開しております。既存事業のさらなる効率化と機能の拡充、全国のインフラと人材を活用した新規事業の推進、グループ各社の機能・資源を活かした成長分野の事業展開により収益基盤を拡大し、当社グループの持続的な成長を実現してまいります。

この取組みの一環として、平成29年9月にJCRファーマ株式会社（兵庫県芦屋市）と業務資本提携をいたしました。また、同社の独自技術を活用した治療薬の開発に向けて、平成30年1月、米国に合弁会社を設立いたしました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高2兆3,904億78百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益341億96百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益441億5百万円（前年同期比2.2%増）、特別利益に係る会社株式売却益などを計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益277億35百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品の販売は、後発医薬品の使用促進やC型肝炎治療薬の需要減などにより市場が横ばいとなる中、堅調に推移いたしました。

本事業では、国民にとって安全・安心な医療を支える社会インフラとして、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るべく、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みを行っております。

物流基盤の強化については、高品質・高機能かつ災害対策を施したALC※1・FLC※2の全国への拡大を進めております。また、顧客向けには、ALCと連動した調剤薬局業務サポートシステム「PRESUS\*（プレサス）※3」の普及により、安全な医薬品管理体制の構築や医療従事者の業務効率の改善に取り組んでおります。

営業面の強化については、2,100名以上のMR認定試験合格者を、高い専門知識とスキルをもつAR※4として任命し、新たなプロモーション活動に取り組んでおります。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は1兆6,061億12百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は138億11百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

#### [用語解説]

※1 ALC（Area Logistics Center）とは、医療用医薬品や医療材料などを扱う最新鋭の物流センターで、主に調剤薬局、病院、診療所に商品を供給しております。

※2 FLC（Front Logistics Center）とは、ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点であります。

※3 PRESUS\*（Pharmacy Real-time Support System）とは、ALCと連動して、需要予測による自動発注や在庫管理などを行うオールインワンのシステムで、調剤薬局内の各種業務をサポートしております。

※4 AR（Assist Representatives）とは、MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称であります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、消費マインドの改善を背景とした個人消費の持ち直しなどにより、市場環境は堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社PALTAC（大阪府中央区）では、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを行っております。また、小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時の安定供給はもとより有事の際にも「止めない物流」体制により、小売業ひいては消費者の皆さまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

今期は、中国エリアにおける配送効率向上を目的とした「FDC広島<sup>※1</sup>」（広島市佐伯区）を新設し、平成29年5月から稼働させるとともに、出荷能力の拡大を目的とした「RDC沖縄<sup>※2</sup>」（沖縄県うるま市）の増設も完了し、同年11月から稼働させております。さらに、平成30年秋の稼働を予定している「RDC新潟」（新潟県見附市）のリプレースでは、労働人口の減少を見据え、より少ない人数で流通加工を可能とする新しい仕組みでの運用をめざすなど事業基盤強化に資する設備投資も進めております。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は7,383億90百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は188億4百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

[用語解説]

※1 FDC（Front Distribution Center）とは、発注頻度の高いケース商品を在庫し、RDCを支援する物流センターであります。

※2 RDC（Regional Distribution Center）とは、化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センターで、小売業に商品を供給しております。

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

動物用医薬品の販売は、畜産向け市場においてワクチンや飼料添加物を中心に積極的な取組みを行ったこと、また、コンパニオンアニマル<sup>※</sup>向け市場において皮膚疾患治療薬や高齢化に関わる商品が伸長したことや、独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+<sup>®</sup>（エムピープラス）」の利用が拡大したことなどにより、順調に推移いたしました。

食品加工原材料の販売は、提案型営業の展開で大手顧客との取引が拡大したことなどにより、順調に推移いたしました。

これらの結果、動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業における売上高は483億76百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は12億96百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

[用語解説]

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	165,267	184,460
受取手形及び売掛金	689,233	749,886
有価証券	18,770	18,770
商品及び製品	147,272	188,990
その他	75,267	78,033
貸倒引当金	△658	△701
流動資産合計	1,095,153	1,219,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,031	100,569
土地	115,289	117,756
その他(純額)	30,422	32,895
有形固定資産合計	247,743	251,221
無形固定資産		
その他	12,851	14,729
無形固定資産合計	12,851	14,729
投資その他の資産		
投資有価証券	149,341	187,360
その他	22,325	21,866
貸倒引当金	△1,503	△1,312
投資その他の資産合計	170,164	207,914
固定資産合計	430,758	473,864
資産合計	1,525,912	1,693,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	860,602	953,512
短期借入金	3,000	21,000
1年内返済予定の長期借入金	8,150	7,559
未払法人税等	6,237	5,989
賞与引当金	8,689	4,253
返品調整引当金	634	604
厚生年金基金解散損失引当金	319	—
その他	40,617	34,943
流動負債合計	928,252	1,027,863
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	30,716
長期借入金	15,464	10,938
債務保証損失引当金	285	299
退職給付に係る負債	19,978	20,115
その他	40,767	45,597
固定負債合計	76,494	107,665
負債合計	1,004,746	1,135,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,362	134,362
利益剰余金	266,611	286,681
自己株式	△21,484	△24,419
株主資本合計	401,888	419,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,555	66,522
繰延ヘッジ損益	5	2
土地再評価差額金	△14,019	△14,019
為替換算調整勘定	608	679
退職給付に係る調整累計額	△1,427	△677
その他の包括利益累計額合計	39,723	52,508
非支配株主持分	79,553	86,242
純資産合計	521,165	557,774
負債純資産合計	1,525,912	1,693,303

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,329,654	2,390,478
売上原価	2,163,394	2,218,834
売上総利益	166,259	171,643
返品調整引当金戻入額	775	634
返品調整引当金繰入額	728	604
差引売上総利益	166,306	171,673
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	59,546	60,634
福利厚生費	9,096	10,375
賞与引当金繰入額	4,040	4,117
退職給付費用	5,142	4,687
配送費	11,814	12,225
地代家賃	3,248	3,281
減価償却費	8,787	9,887
その他	31,731	32,267
販売費及び一般管理費合計	133,407	137,477
営業利益	32,898	34,196
営業外収益		
受取利息	39	72
受取配当金	2,587	1,967
情報提供料収入	5,706	5,855
不動産賃貸料	498	461
持分法による投資利益	1,295	1,139
その他	957	863
営業外収益合計	11,083	10,359
営業外費用		
支払利息	237	180
不動産賃貸費用	140	149
貸倒引当金繰入額	305	—
その他	150	120
営業外費用合計	834	450
経常利益	43,147	44,105



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	673	413
関係会社株式売却益	—	5,399
持分変動利益	—	1,561
その他	19	150
特別利益合計	693	7,525
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	50	455
減損損失	150	179
災害による損失	145	—
事務所移転費用	208	360
その他	37	0
特別損失合計	592	995
税金等調整前四半期純利益	43,249	50,635
法人税、住民税及び事業税	12,635	15,353
法人税等調整額	1,044	524
法人税等合計	13,679	15,877
四半期純利益	29,569	34,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,022	7,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,547	27,735

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	29,569	34,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,668	13,304
繰延ヘッジ損益	82	△6
土地再評価差額金	△0	—
退職給付に係る調整額	629	849
持分法適用会社に対する持分相当額	△950	174
その他の包括利益合計	4,429	14,322
四半期包括利益	33,999	49,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,663	40,521
非支配株主に係る四半期包括利益	6,336	8,558

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,576,374	707,756	45,523	2,329,654	—	2,329,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,722	568	4	2,294	△2,294	—
計	1,578,097	708,324	45,527	2,331,948	△2,294	2,329,654
セグメント利益	15,481	15,862	988	32,332	565	32,898

(注) 1. セグメント利益の調整額565百万円には、セグメント間取引消去2,417百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,851百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,604,116	737,989	48,372	2,390,478	—	2,390,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,995	401	3	2,401	△2,401	—
計	1,606,112	738,390	48,376	2,392,879	△2,401	2,390,478
セグメント利益	13,811	18,804	1,296	33,912	283	34,196

(注) 1. セグメント利益の調整額283百万円には、セグメント間取引消去1,736百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,453百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。